

宿毛の教育について

宿毛市教育長 鎌田 勇人

令和6年度教育行政方針の概要をお知らせします。

人権教育

不当な差別をなくするため、あらゆる機会を通じて人権教育を積極的に推進し、全ての人が、人として尊重し合える明るいまちづくりと人権意識の向上に努めます。

重点目標・施策

- 人権週間等を通じた啓発活動や人権教育推進講座を実施し、学習と啓発の充実に努めます。
- 関係機関・団体と連携し、人権教育を推進する人材の育成に努めます。

学校教育

少子高齢化による人口減少、グローバル化の進展など将来予想が困難な時代において、自ら考えた夢と志を持ち、

自らがその目標に向かって実践的に取り組んでいくために、主体的・対話的で深い学びを通して確かな学力の保障と豊かな人間性の向上に取り組みます。西地域の学校建設に向けては、学校の規模や配置、コンセプトなど基本的な案となる基本計画の策定に向けて取り組みます。

重点目標・施策

- 全国学力・学習状況調査や標準学力調査、高知県学力定着状況調査等の結果を学校現場と共有・分析し、基礎学力の定着と学力の向上に繋がります。
- 児童生徒の発達の段階に応じた情報モラルを身に付けさせるとともに、ICT端末活用の日常化を目指し、情報活用能力の育成を図ります。
- 義務教育の9年間および義務教育を終えた子どもたちの姿を見据えた教育を推進するため、小学校・中学校の特性を活かしながら小中9年間の一貫的な教育を進めます。
- 教育研究所に開設している教育相談センター（ふ

れあい教室）が、閉校後の橋上小学校で活動を開始します。不登校児童生徒や保護者の支援に努めるとともに、不登校傾向が見られる児童生徒の個々の状況を把握し、よりきめ細かな取り組みを推進します。

いじめ問題等の予防に努め、学校におけるいじめの積極的な認知、早期の組織的対応を行い、早期解決に努めます。

- 本市独自の副読本「日本を築いた宿毛の人びと」などの活用により、郷土の偉人についての学習や、宿毛の文化、産業などについての体験活動を通じて、知識や理解を深め郷土愛を育てていきます。今年度は、小学校3・4年生で使用している社会科副読本を現状に合わせて改訂を行います。
- 児童生徒、教職員の危機管理の意識の高揚を図るため、引き続き防災教育の推進に取り組みます。
- 全国体力・運動能力調査の結果を踏まえ、体育の授業改善や休み時間等の運動を奨励することで、子どもた

ちの体力・運動能力の向上に努めます。

● 教員業務支援員など各種支援員を活用することにより学校における働き方改革の推進に取り組みます。

学校給食

学校給食を生きた教材として活用し、栄養教諭による食に関する指導のさらなる推進に向け取り組みまいります。

重点目標・施策

- 安心安全で栄養バランスの取れた魅力あふれる学校給食を提供し、児童生徒の健康増進に取り組みます。
- 郷土の食文化や地場産物に対する理解と関心を深めていきます。
- 現在建設中の新設学校給食センターは、今年度末に完成予定となっており、完成後は、新設学校給食センターの稼働準備に着手し、令和7年8月からの供用開始に向けて取り組みます。

生涯学習

生きがいと潤いのある人生

を過ごすことができるよう、自発的に学習できる機会を充実させることによって、地域全体の教育力の向上を図るとともに、健康増進や体力づくりを図ることで、より充実した生活を送ることができるよう生涯スポーツの振興に努めます。

重点目標・施策

- 宿毛歴史館において、「宿毛市制70周年」に連動した70年間の宿毛の出来事を詳細にデータベース化する事業をスタートします。
- 市制70周年記念事業の一環として、宿毛市名誉市民である豊ノ島さんと親交が深いトップアスリートを招聘し、スポーツ教室を実施します。
- スポーツ施設の改修・整備を促進します。今年度は宿毛市総合運動公園陸上競技場の3種公認にかかる改修工事を実施します。
- 部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境の一体的な整備を推進します。子どものニーズに応じた多種多様なスポーツを安全・安心に実施できる環境を目指します。